

製品名: Lysis Buffer-stool test-

## 1. 化学品及び会社情報

製品名: Lysis Buffer-stool test-

供給者の会社名称: 東洋紡株式会社  
住所: 大阪市北区梅田一丁目13番1号 大阪梅田ツインタワーズ・サウス  
担当部門: バイオ事業総括部  
(TEL:06-6348-3786, FAX:06-6348-3833)

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

	区分
急性毒性(経口)	区分に該当しない(区分外)
急性毒性(経皮)	区分に該当しない(区分外)
皮膚腐食性/刺激性	区分1
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分2
水生環境有害性 短期(急性)	区分に該当しない(区分外)
水生環境有害性 長期(慢性)	区分に該当しない(区分外)

### GHSラベル要素

絵表示:



注意喚起語: 危険  
危険有害性情報: 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷  
重篤な眼の損傷  
臓器(呼吸器)の障害のおそれ

注意書き:

- 【安全対策】 蒸気を吸入しないこと。  
取扱い後は手をよく洗うこと。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- 【応急措置】 皮膚に付着した場合: 多量の水および石鹼で洗うこと。  
気分が悪いときは直ちに医師に連絡すること。  
飲み込んだ場合は、口をすすぐこと。  
汚染された衣類を脱ぎ再使用する場合には洗濯をすること。
- 【保管】 施錠して保管すること。
- 【廃棄】 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の専門の廃棄物処理業者業務委託することに廃棄すること。

製品名: Lysis Buffer-stool test-

## 3. 組成及び成分情報

&lt;6×Lysis Buffer&gt;

化学物質・混合物の区別: 混合物

成分及び濃度又は濃度範囲

成分名称	含有量 wt%	CAS#	化審法	安衛法		化管法	毒劇法
			官報公示 番号	官報公示 番号	通知物質	指定物質	毒物劇物
水酸化ナトリウム	5.0未満	1310-73-2	1-410	公表	通知-319	非該当	規制濃度 以下
エチレンジアミン四酢酸二ナ トリウム・2水和物	1.0~5.0	6381-92-6	2-1265	公表	非該当	1種-595	非該当
アシッドイエロー23	1.0未満	1934-21-0	5-1402	公表	非該当	非該当	非該当
水	約90.0	7732-18-5	第八改正 日本薬局 方	公表	非該当	非該当	非該当

## 4. 応急措置

吸入した場合:	直ちに新鮮な空気のある場所に移し、異常のある場合は医師の診断を受ける。 気分が悪いときは直ちに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合:	製品に触れた部分を多量の水および石鹼でよく洗う。 外観に変化があるか、痛みが続く場合には直ちに医師の診断を受ける。 皮膚に付着した場合: 多量の水および石鹼で洗うこと。 気分が悪いときは直ちに医師に連絡すること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合:	眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受ける。 気分が悪いときは直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合:	意識のある場合には、水で口の中を洗浄し、速やかに医師の手当てを受ける。無理に吐かせない。意識のない場合には、口から何も与えてはならないし、吐かせようとしてもいけない。異常がある場合は、医師の診断を受ける。
応急措置をする者の保護:	情報なし

## 5. 火災時の措置

消火剤:	水、二酸化炭素、泡消火剤、粉末消火剤
使ってはならない消火剤:	情報なし
特有の危険有害性:	情報なし
特有の消火方法:	消火作業は可能な限り風上から行う。
消火を行う者の保護:	大規模な火災の場合は保護衣、呼吸用保護具を着用する。

製品名: Lysis Buffer-stool test-

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置:	眼、皮膚への接触、吸入を避ける。
環境に対する注意事項:	直接河川や環境中に放出しない。
封じ込め及び 浄化の方法及び機材:	少量の場合は、土砂、おがくず、ウェス等に吸収させて空容器に回収する。大量の場合は、土砂などで流れを止め、安全な場所に導いてから回収する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策:	適切な保護具を使用し、吸い込んだり、目や皮膚に触れたりしな 取扱い後は、手をよく洗うこと。
局所排気・全体換気:	適切に換気し保護具を着用し取り扱うこと
安全取扱い注意事項:	強酸化剤との接触は避ける。 蒸気を吸入しないこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
接触回避:	情報なし
衛生対策:	取り扱い場所を常に整理整頓し、清潔に保つ。
保管	
安全な保管条件:	火気及び熱源より遠ざける。 風雨や直射日光を避ける。 強酸化剤とは隔離して保管する。 容器は密閉状態で保管する。 荷崩れしないように保管する。 6×Lysis Bufferは2℃～8℃で保存する。 施錠して保管すること。
安全な容器包装材料:	本製品に使用されている容器内で保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策:	換気装置を設置する。 取扱い場所近くに洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。
保護具	
呼吸用保護具:	保護手袋、保護衣、保護眼鏡/保護面を着用すること。
手の保護具:	保護手袋
眼の保護具:	保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具:	保護手袋、保護衣、保護眼鏡/保護面を着用すること。 保護衣等

## 9. 物理的及び化学的性質

<6×Lysis Buffer>	
物理的状態:	常温で液体

製品名: Lysis Buffer-stool test-

色:	黄色
臭い:	データなし
融点・凝固点:	データなし
沸点、初留点 及び沸騰範囲:	データなし
燃焼性(固体、気体):	データなし
燃焼の又は爆発範囲:	データなし
引火点:	データなし
自然発火温度:	データなし
分解温度:	データなし
pH:	pH9.0~14.0
動粘度:	データなし
溶解度:	データなし
n-オクタノール/水 分配係数:	データなし
蒸気圧:	データなし
比重(密度):	データなし
蒸気密度:	データなし
粒子特性:	データなし

## 成分

## 水酸化ナトリウム

物理的状态:	固体
色:	白色
臭い:	無臭
臭いのしきい(閾)値:	データなし
融点・凝固点:	318(°C)
沸点、初留点 及び沸騰範囲:	1390(°C)760mmHg
燃焼性(固体、気体):	データなし
燃焼の又は爆発範囲:	データなし
引火点:	データなし
自然発火温度:	データなし
分解温度:	データなし
pH:	145%
粘度:	データなし
動粘度:	データなし
溶解度:	水: 1090(g/L)
n-オクタノール/水 分配係数:	-3.88
蒸気圧:	133(Pa)(739°C)
比重(密度):	2.1
蒸気密度:	データなし
蒸発速度:	データなし
粒子特性:	データなし

## 10. 安定性及び反応性

&lt;6×Lysis Buffer&gt;

反応性: データなし

製品名: Lysis Buffer-stool test-

反応性、化学的安定性: 常温では安定で、反応性はない。  
危険有害反応可能性: データなし  
避けるべき条件: 高熱、炎  
混触危険物質: 強酸化剤  
危険有害な分解生成物: データなし

## 1 1. 有害性情報

急性毒性 (経口): 区分に該当しない (区分外)  
急性毒性 (経皮): 区分に該当しない (区分外)  
急性毒性 (吸入): 区分に該当しない (分類対象外) (気体)  
区分に該当しない (分類対象外) (蒸気)  
区分に該当しない (分類対象外) (粉塵・ミスト)

皮膚腐食性及び皮膚刺激性: 区分1

眼に対する重篤な損傷性  
又は眼刺激性: 区分1

呼吸器感作性: 分類できない

皮膚感作性: 分類できない

生殖細胞変異原性: 分類できない  
発がん性: 分類できない  
生殖毒性: 分類できない  
特定標的臓器毒性、単回ばく露: 区分2(呼吸器)

特定標的臓器毒性、反復ばく露: 分類できない

誤えん有害性: 分類できない

### 成分

#### 水酸化ナトリウム

急性毒性 (経口): 分類できない  
LD50: 325 mg/kg[ウサギ]

急性毒性 (経皮): 分類できない  
動物への影響: データなし。

急性毒性 (吸入): 区分に該当しない (分類対象外) (気体)  
分類できない (蒸気)  
分類できない (粉塵・ミスト)  
動物への影響: データなし。

## 安全データシート

SDS: P023718

作成: 2023/12/01

改訂: 4674A

製品名: Lysis Buffer-stool test-

皮膚腐食性及び皮膚刺激性:	区分1 動物への影響: ブタの腹部に2N(8%)、4N(16%)、6N(24%)溶液を適用した試験で、大きな水疱が15分以内に現れ、8%および16%溶液は全表皮層に重度の壊死を生じ、24%溶液においては皮下組織の深部に至る壊死を伴う無数かつ重度の水疱が生じたとの報告(SIDS(2009))、およびウサギ皮膚に5%水溶液を4時間適用した場合に重度の壊死を起こしたとの報告(ACGIH(7th, 2001))に基づき区分1とした。
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性:	区分1 動物への影響: ウサギ眼に対し1.2%溶液ないし2%以上の濃度が腐食性濃度との記述(SIDS(2009))、pHは12(0.05% w/w)(Merck(14th, 2006))であることから区分1とした。
呼吸器感作性:	分類できない 人への影響: データなし。
皮膚感作性:	区分に該当しない(区分外) 人への影響: 男性ボランティアによる皮膚感作性試験で、背中に0.063% - 1.0%溶液を塗布して誘導をかけ、7日後に0.125%溶液を再塗布したが、用量依存性の刺激増強はあったが、再塗布したパッチ面の反応の増強は認められなかった。したがって、水酸化ナトリウムには皮膚感作性がなかった。さらに、水酸化ナトリウムは長年広く使用されておき、ヒトの皮膚感作症例の報告も無いことから水酸化ナトリウムは皮膚感作性物質とは考えられないという結論(SIDS(2009))に基づき、区分外とした。
生殖細胞変異原性:	区分に該当しない(区分外) その他の変異原性: 陰性 in vivo試験のデータとして、マウスに腹腔内投与による骨髄細胞を用いた小核試験(体細胞in vivo変異原性試験)で小核の有意な増加は観察されず(SIDS(2009))、またマウスに腹腔内投与による卵母細胞を用いた染色体異数性誘発試験(生殖細胞in vivo変異原性試験)では染色体不分離の証拠は見出されていない(SIDS(2009))。これらの結果は体細胞及び生殖細胞を用いたin vivo変異原性試験の結果が陰性であることを示しているため区分外とした。
発がん性:	分類できない その他試験データ ラットの経口投与12週間の発がん性試験で陰性[DFGOTvol.12(1999)]などの報告があるがデータ不足で分類できない。
生殖毒性:	分類できない その他 データなし。
特定標的臓器毒性、単回ばく露:	区分1(呼吸器) 粉塵やミストの急性吸入暴露により粘膜刺激に続き、咳・呼吸困難などが引き起こされ、さらにばく露が強いと肺水腫やショックに陥る可能性がある(PATY(5th, 2001))という記述により区分1(呼吸器)とした。

製品名: Lysis Buffer-stool test-

特定標的臓器毒性、反復ばく露:	分類できない ヒトに対する影響のデータもほとんどないので、データ不足で分類できない。なお、潮解性や極小の蒸気圧などの物理化学的特性から粉塵形成はあり得ない〔SIDS (2009)〕との記述がある。、経口、経皮、吸入またはその他の経路による反復ばく露の動物試験データはない(SIDS (2009))と記述され、また、ラットでのエアゾル吸入反復ばく露で肺に障害を与えたとの記述(ACGIH (7th, 2001))があるが、ばく露濃度が不明のため分類できない。
誤えん有害性:	分類できない 人への影響: データなし。

## 1 2. 環境影響情報

<6×Lysis Buffer>

生態毒性	
急性毒性:	区分に該当しない (区分外)
慢性毒性:	区分に該当しない (区分外)
残留性・分解性:	情報なし
生体蓄積性:	情報なし
土壌中の移動性:	情報なし
オゾン層有害性:	分類できない
他の有害影響:	情報なし

成分

水酸化ナトリウム

生態毒性	
急性毒性:	区分3
魚類:	データなし。
甲殻類:	48hrLC50: 40 mg/L[ネコゼミジンコ]
藻類:	データなし。
慢性毒性:	区分に該当しない (区分外)
魚類:	データなし。
甲殻類:	データなし。
藻類:	データなし。
残留性・分解性:	データなし。
生体蓄積性:	データなし。
土壌中の移動性:	データなし。
オゾン層有害性:	分類できない

## 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物: 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者若しくは地方公共団体が処理を引き受けている場合には地方公共団体に委託する。  
焼却: 管理された焼却設備を用いて“大気汚染防止法”等にしたがって焼却する。

製品名: Lysis Buffer-stool test-

## 14. 輸送上の注意

国内規制: 転倒、落下がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。  
包装・容器が破損しないように、水濡れや乱暴な取り扱いを避ける。  
荷崩れしないように取り扱う。

輸送の特定の安全対策: 2°C~8°C (冷蔵保存)

## 15. 適用法令

化審法: 非該当

PRTR法 (化管法) (2023年施行): 第1種指定化学物質 (2023年施行) (エチレンジアミン四酢酸二ナトリウム・2水和物)

安衛法: 名称等を表示すべき危険物及び有害物(水酸化ナトリウム), 名称等を通知すべき危険物及び有害物(水酸化ナトリウム), 腐食性液体(水酸化ナトリウム)

毒劇法: 非該当

消防法: 非該当

労働基準法: 疾病化学物質(水酸化ナトリウム)

水質汚濁防止法: 指定物質(水酸化ナトリウム)

海洋汚染防止法: 有害液体物質Y類物質(水酸化ナトリウム)

## 16. その他の情報

参考文献 【GHS分類方法】 JIS Z 7252: 2019 「GHSに基づく化学物質等の分類方法」  
社内データNITE-CHRIP (製品評価技術基盤機構) 職場のあんぜんサイト  
(厚生労働省) RTECS (化学物質毒性データ総覧) 国際化学物質安全性カード  
3E Insight for Chemicals (日報化学品法規情報センター) 化学大事典  
(共立出版社) 14705の化学商品 (化学工業日報社)

制約事項 記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別の取扱いをする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供を主目的とするものであって、保証するものではありません。